

第24回生命情報科学シンポジウム (今回は通常の学術発表はやりません) 不思議現象を説明できる 「新しい世界像を求めて」合宿討論

主催：国際生命情報科学会 (ISLIS:イスリス) <http://wwwsoc.nii.ac.jp/islis/>
共催：国際総合研究機構 (IRI)、超党派国会議員連盟「人間サイエンスの会」(NS)、
HPS心理センター&カウンセリングアカデミー(催眠療法等指導) <http://www.hps.jp/>
後援：長野県伊那市長谷総合支所、人体科学会、日本サトルエネルギー学会、
日本ホリスティック医学協会、日本サイ科学会、国際気功連合、日本心霊科学協会

長谷合宿 プログラム

2007年8月27日版
当日変更になることがあります。

主会場：「栃の木」(「入野谷」でなく)に参加者多数のため、変更となりました。
早くご到着の方は、各宿泊所「入野谷」や「仙流荘」(特別グループ用)に荷物を置いてきてください。
そこから主会場の「栃の木」へは定時無料バスが出ます。移動時間は約20分。
服装：会議場にもスポーティな軽装にて。運動靴、体操用服、帽子、長袖(朝晩は冷えます)持参。
特に2日目、3日目は、早朝気功など指導、昼ツアー、2日目午後は会場での実技参加があります。
講演の注意：演者は、細部に入らず、結論を簡明に、図にまとめ、本合宿の目的の方向へお話しください。
各演者名の前に講演時間が示されておりますので、それまでに終了してください。その後討論5分間(討論は一括して実施する場合があります)。*印は基調講演。
講演用の機材：PC用プロジェクター(PCと特殊接続ケーブルはご持参ください)、
VHSビデオ(大型テープのみ)、OHP(透明紙のみ)、マイク
参加者紹介：気功、ヒーリング、リーディングなどなさる方で、自己紹介くださる方は、
OHP用紙(A4版の透明紙縦型(下部5cmは写らない)2枚以内に、氏名、所属、肩書、何をなさるかなど
書き、1分以内でご紹介いただける場合が有りますので、ご準備ください。

座長(司会)：山本幹男と 河野貴美子、上田 至宏、青山 圭秀、などが交代で行います。

[8月31日(金)午後 於「栃の木」]

正午ー 受付開始 於「栃の木」

1:30ー 開会・開催趣意説明

*20分 山本 幹男(やまもと みきお) 第24回生命情報科学シンポジウム 大会長、ISLIS理事長・編集委員長、
国際総合研究機構(IRI)理事長、超党派国会議員連盟 人間サイエンスの会 世話人代表
ns@a-iri.org <http://wwwsoc.nii.ac.jp/islis/> 090-9232-9542 FAX 043-255-9143

第24回生命情報科学シンポジウム 不思議現象を説明できる「新しい世界像を求めて」合宿討論 開催趣旨
スピリチュアル・ヒーリング、気功、アーユルベータ、臨死体験、超常現象など、現代科学で説明が出来そうも
無い不思議現象が多種存在している。各界の世界像を知り、不思議現象を説明可能な世界像を合宿討論で追求
する。また、参加者による気功・セラピーなど各種実演等各界の交流を図る。オプションでは催眠療法について
理解を深める。

キーワード：不思議、世界像、超常現象、スピリチュアル、催眠

長谷への歓迎の辞・長谷の説明など(一部の参加可否・順は未定、一部は交流会などに回る事があります)

宮下 創平(みやした そうへい) 元 厚生大臣・環境庁長官・防衛庁長官、長谷出身

宮下 一郎(みやした いちろう) 衆議院議員、衆議院財務金融委員会 理事、
超党派国会議員連盟 人間サイエンスの会 事務局長、ISLIS特別顧問、長谷出身

宮下 市蔵(みやした いちぞう) 長野県伊那市 長谷総合支所長(旧 長谷村村長)、長谷

池上 直彦(いけがみ なおひこ) 同 産業振興課長、

長谷現地委員長、ISLIS会員、長谷

*25分 宮本 高行(みやもと たかゆき) 国土交通省 政策評価企画官(元 在長谷 ダム事務所長)、
長谷「気の里」構想プロデューサー、ISLIS会員、超党派国会議員連盟 人間サイエンスの会 準会員
irinomia@kj9.so-net.ne.jp

秘話・秘蔵写真初公開!『気場発見の経緯』と『伊那谷の神秘と魅力』

平成6年7月、長谷村の事務所に赴任した筆者は、伊那谷の自然から衝撃を受け、「気の谷」であることを直
観。伊那谷の本質を多角的に探究し、「ウェルネスポリス構想」等を地元で提唱、賛同者を得た。場所の診断を
専門家に依頼し、平成7年7月2日に「分杭峠気場」を発見。地元長谷村は「気の里構想」を打ち出す。10周
年記念日を境に、不思議な写真が撮れるようになり、写真集等を製作。今回、神秘の極致である秘蔵気場写真を
初公開。

キーワード：分杭峠、気場発見、長谷「気の里」構想、不思議写真、中央構造線

*40分 北岡 秀二 (きたおか しゅうじ) ISLIS特別顧問、
元 自治政務次官・参議院文教科学委員長、超党派国会議員連盟 人間サイエンスの会 前幹事長
瞑想・座禅・内観の世界像
キーワード： 瞑想、座禅、内観

*25分 青山 圭秀 (あおやま まさひで) カリフォルニア州立大学 客員教授、東洋伝承医学研究所 副所長、
ISLIS 常務理事 maria@lightfield.co.jp <http://www.lightfield.co.jp/aoyama>
アーユルヴェーダの世界観

*25分 上田 至宏 (うへだ よしひろ) 関西医療大学・大学院 教授(情報生理学)、医学情報センター長、
ISLIS 理事 ueda@kansai.ac.jp
曼荼羅の生理学

古くから厳しい修行をもとに直感や感性で示した宗教家や聖職者の言葉の中に現代科学で明らかにされてきているものと相通するものが見て取れるものです。なかでも弘法大師や道元禅師が「曼荼羅」の世界や「正法眼蔵」のなかで言わんとされていたことは現在の「脳生理学」や「情報科学」の科学用語で置き換えることが出来ます。例えば、空海さんが示された「曼荼羅」には「非線形科学」で話題になる「カオス」や「フラクタル」の概念そのものが含まれ、また「曼荼羅」の世界は現在脳生理学で研究されている概念で解釈することもできます。「曼荼羅」と「脳」を関連づけて話を進めます。
キーワード： 曼荼羅、空海、脳、自然観

*25分 石川 幹人 (いしかわ まさと) 明治大学 教授
ishikawa@kisc.meiji.ac.jp <http://www.isc.meiji.ac.jp/~ishikawa/>
世界観と理論～本流科学の世界像はなぜダメなのか

科学的な研究方法では、予測可能性が高い実用理論が重んじられる。その理論構築は実証的なデータや事実にもとづいてなされるはずであるが、じつは、暗黙の世界像によって方向づけられている。こうした世界観と理論の関係性を平易に解説する。

*50分 本間 修二 (ほんま しゅうじ) 1、田口 好久 (たぐち よしひさ) 2
1 TBS ビジョン エクゼクティブ・プロデューサー s.dorashido@jcom.home.ne.jp 2 介護福祉士
子供たちの未知能力開発とその後

田口好久(28歳)は、小学校5年生のころ、本間が企画したテレビ番組未知能力シリーズを通じて発見され、未知能力開発実験に参加してくれた少年でした。現在は、名古屋で介護福祉士をしています。元超能力少年である田口が今回、特別参加。当時の実験映像のプレイビューの後、「先天的にどんな能力があったのか?」、「未知能力開発実験で、どんな能力が出てきたのか?」、「その能力は、今でもあるのか?」、「その超能力は役に立つのか?」など、研究者、関係者の疑問に直接答えられる公開討論をします。

15分 王 一帆 (わん いーふあん) 回春功上級師範、ISLIS 会員
王一帆グループ紹介

【回春功】生命のあるものが本来持つて自己の治癒力を、自然な形で高め増強するために、動物達の仕草を基本とした動功が回春功です。蛙・鶴などの様々な動作をとりいれ気脈を活性化させ個々の細胞から自然治癒力を高め春の若さを回らそうとするものです

【気脈鑑定】中国において医師であり気功師でもある王一帆が、強力な気場によりあなたの気脈の流れを整えます。恋愛・仕事・人間関係・健康等でお悩みの方、王はあなたの気脈を感じて、その意味をお伝えします。ぜひ一度お試しください(交流会中に実施)。

キーワード： 回春功、気脈鑑定

他の参加者紹介 (一部)

6:40- 移動 「仙流荘」へ
夜 7:00-9:30

【8月31日(金)夜 交流会1 於「仙流荘」】

(実演) 王 一帆 回春功上級師範、ISLIS 会員 回春功
王一帆グループなど 気脈鑑定、ヒーリング、リーディングなど体験(交流会中に)
宮本 高行(みやもと たかゆき) 長谷の説明補足 国土交通省 政策評価企画官(元 在長谷 ダム事務所長)、
長谷気の里推進者、ISLIS 会員

9:30- 移動 「入野谷」に宿泊の方

6:30-7:00 **【9月1日(土)早朝 気功など指導】**

気功指導 王 一帆 (わん いーふあん) 回春功 回春功上級師範、ISLIS 会員 於「仙流荘」野外
気功指導 齊藤 鐵成 (さいとう てつなり) 齊藤式気功 気功術療法研究所 主宰 於「入野谷」野外

7:00-8:00 朝食 於各宿泊所

8:00- 移動 「栃の木」へ

[9月1日(土) 午前8:30-11:40 於「柝の木」]

*15分 **宮本 高行** (みやもと たかゆき) 国土交通省 政策評価企画官 (元 在長谷 ダム事務所長)、長谷「気の里」構想プロデューサー、ISLIS会員、超党派国会議員連盟 人間サイエンスの会 準会員
irinomia@kj9.so-net.ne.jp

「科学の限界」を超えた「21世紀の新しい世界観」

20世紀の科学は、全てを包含する世界が、人間の認識力や理性を超越し、所謂科学的な説明領域を超えた存在であることを明らかにした。21世紀の文明は、おそらく人間の意識感覚が進化することにより、超能力をも発揮しうる「意識の作用」等、今日の説明不能領域に対しても、理性と感性を融合させた新感覚により新たな視界を切り開き、旧感覚の想像を超越した「新しい世界観」を構築していくと予測。自らの体験と古今の叢智の言葉を交えて紹介する。

キーワード： 科学の限界、東洋哲学、5次元、意識、超能力

*30分 **青山 圭秀** (あおやま まさひで) カリフォルニア州立大学 客員教授、東洋伝承医学研究所 副所長、ISLIS 常務理事 maria@lightfield.co.jp <http://www.lightfield.co.jp/aoyama>

人類の思想を概観する 科学・哲学・宗教・・・

*20分 **河野 貴美子** (かわの きみこ) 日本医科大学 情報科学センター、国際総合研究機構(IRI) 副理事長、ISLIS 副会長 (元会長)

意識の世界が脳波でどこまでわかるか

現在の科学では簡単には説明がつかないと思われる現象の多くが、人間の意識が大きく関わるような問題である。意識の根源のすべてが脳にあるかどうかはともかく、意識に一番深く関わる器官が脳である以上、現象を探るために、脳の計測をまず試みようとするのは当然であろう。さまざまな非侵襲的な脳機能計測のうち、そのときの意識状態を一番乱すことなく計測できるのは、現時点では脳波と考えられるが、さて、では脳波で意識の世界がどこまでわかるのだろうか。そもそも意識とは何であり、脳の構造とどのように結び付けて考えたいのだろうか。今までの計測事例と脳の科学から、考えてみたい。

キーワード： 脳波、α波、前頭葉、変性意識、脳の階層構造

*20分 **上田 至宏** (うえだ よしひろ) 関西医療大学・大学院 教授(情報生理学)、医学情報センター長、ISLIS 理事 ueda@kansai.ac.jp

東洋医学の秘密は脳にある？

東洋医学をこれ以上広めようと思ったら、治療のメカニズムを西洋医学の知識で説明する必要がある。私は東洋医学の治癒力の秘密は脳にあると考える。生物はその自己が置かれた状況の中で最善の状態を維持しなければいけないので、健康の目標値を状況に合わせて調節するシステムが必要になります。内部および外部環境からの刺激を受け止め、それに適した最善の調節システムが神経節や神経ネットワークに組み込まれていく。脳の健康に対する調節系ができるのではないか。その究極が経絡、経穴として東洋医学の一部を示しているのではないのでしょうか。

キーワード： 自然治癒力、経穴、経絡、健康、東洋医学

*20分 **木戸 眞美** (きど まみ) 東北学院大学 教授、ISLIS 常務理事 mquido@hotmail.com

遠隔作用(仮題)

遠隔作用には、“みつめ”、テレパシー、RV (リモートビューイング) それに遠隔ヒーリングなどがある。これらの現象は複数のグループが実践的に日常に応用していることから存在や効果は明らかである。これらの研究から分かってきたことを紹介する。

*20分 **大須賀 克己** (おおすが かつみ) 日本グロースセンター 所長 (カウンセリング研究所) 所長
ホリスティック学の会 会長 osuga-k@athena.ocn.ne.jp <http://www.japangrowthcenter.org>

ホリスティック人間学

宇宙生命体は全体(ホリスティック)で動いていることが新たな物理学において確認されてきたが、東洋ではすでに直感的に把握されていた。この新しい統合的世界観に沿った人間開発及び人生観について考えてみる。特に私の心理セラピー分野においては臨床的分析を超える全体的4次元の世界との出会い体験が必要である。他人との出会い(善悪を超えた理解)、自己との出会い。自然との出会い。そして宇宙との。

*30分 **よしだ ひろこ1、石塚 龍夫** (いしづか たつお) 2

1 HPS 心理センター&カウンセリングアカデミー 主宰、ISLIS 会員 2 HPS 主任講師、日本催眠学会 幹事
前世催眠療法 Q&A

前世催眠療法に関する質疑に答えます(前世催眠療法のマンツーマンでの体験および催眠・その基礎技法の講習はオプションにて実行)。

11:40-12:00 昼食 「柝の木」にて ツアー説明

12:00-2:30 [9月1日(土) ツアー1 発着「柝の木」着各宿泊所へも]

ツアーA: 分杭峠(気場)(山に入りますので、運動靴着用)

ツアーB: 熱田神社(重要文化財)、中央構造線(断層)、その他

[9月1日(土) 午後2:30- 於「柝の木」]

*50分 **末松 義規** 衆議院議員、**末松 知子** 令夫人(すえまつ よしのり、ともこ)

私の研究した精神世界

キーワード： 精神世界、スピリチュアル

以下の数題の実演は各説明後、併行継続実施します。

10分 齊藤 鐵成 (さいとう てつなり) 気功術療法研究所 主宰 kikohjutsu@ybb.ne.jp

(実演・参加型) 宇宙エネルギーの応用：進化した自発功による能力開発の可能性

被験者は、運動が苦手な30代の女性。気功師が無尽蔵の宇宙エネルギーを自由自在にコントロールして、意のままに被験者を操り、エネルギー（内気）をアップしながら筋肉をつける訓練を行う。被験者は自分の意思とは関係なく転んだり、眠ったり、対戦したり、物まねしたり、学習したことのないこと（空手・太極拳・フラメンコ等）に挑戦する。運動機能の向上・病気の回復・脳の開発に気功が応用できる可能性を示す。

キーワード： 外気功、自発功、無意識

10分 川上 光正 (かわかみ みつまさ) A&A 日本潜在心理開発センター 会長、マスターソウルヒーラー

(実演・参加型) クンダリーニョガ瞑想で心頭滅却し、痛覚を制御する

1999年、サンフランシスコ州立大学・教授であるE・ペパー博士と筆者の共同研究で痛覚制御が解明された。2003年、国立自然科学研究機構の柿木教授との共同研究では、f-MRIとMEGを使用し、身体へのレーザー照射による痛覚制御を世界で初めて検証し、2005年に共同研究の論文を発表。今回、意識・思念が脳を変え、痛覚制御が可能なことを認識していただくための実演を行う。

10分 舟久保 せいこ (ふなくぼ せいこ) 桜南歯科クリニック 院長、 歯科医師 sekof@mua.biglobe.ne.jp

(実演・参加型) チャネリングセラピー 観想法

人や物、写真等の映像から超微弱な念波や意識波が発せられている。それらは様々な不定愁訴や人間関係の軋轢の原因となっている乳幼児期や胎児期のトラウマや、前世で魂に刻まれた記憶であったり、内なる純粋な魂からのメッセージであったりする。その意識波動を観想し相手に伝えることで、慢性的な不調の原因が解明され、新たな自分を再発見する場合もある。今回は参加者の中から希望者を募りチャネリングセラピーを実演したい。

10分 小川 素治、赤司 洋子 共鳴気功主宰 kyoumei@y5.dion.ne.jp

(実演・参加型) 共鳴気功による意識エネルギー治療と触手法

共鳴気功では、体内や生活場のマイナスエネルギー（霊障）、オーラ、アカシックレコード、未知の素粒子 Y 粒子、霊や魂、過去・前世などの生命情報エネルギーの浄化を行い、健康回復に高い効果を上げている。また、目に見えない生命情報エネルギーを誰もが理解できるものにするため、人間の手をセンサーとする「触手法（タッチテスト法）」を独自に開発し、啓蒙に努めている。

キーワード： 共鳴気功、生命情報エネルギー、浄化による調整法、アカシックレコードからの情報、タッチテスト法

10分 前田 豊 (まえだ ゆたか)

ISLIS 正会員、人体科学会学会会員、サトルエネルギー学会意識科学研究会副座長

maeda_yutaka@nifty.ne.jp <http://homepage2.nifty.com/kodaishinto/>

不思議現象と意識科学的宇宙論の考察

人間の特異潜在能力によって「不思議現象」が発現することは、科学的にもその存在が証明されてきている。その原理、メカニズムとして幾通りかの説が提案されているが、必ずしも全ての現象を説明できるものではない。本発表では、時空間と意識を含む新しい多次元宇宙空間を仮説し、各種の不思議現象発現をほぼ矛盾なく説明しうる「意識科学的宇宙論」の提言を行う。特に預言を含む超時間的な現象の説明を試みる。

キーワード： 気、意念、不確定性原理、多次元宇宙空間、意識科学

15分 羽持 満 (はもち みつる) 日本電子株式会社、ISLIS 会員

宇宙人ユミットからの手紙の世界観

ウンモ星人ユミットを名乗る存在から、スペインの一般人宛てに手紙が送られ始めたのは1962年である。それらの内容を元にMHD推進理論や宇宙論が展開され一流の科学誌に受理されている。手紙には彼らの科学に基づく形而上学も載せられており、魂と集合意識の証明、テレパシーのメカニズム、真実の宇宙の構造などが論じられる。時空の認識自体の変更を要求する彼らの主張は、種々の未解明現象の説明に役立つと思われる。

参考文献：ジャン＝ピエール・プチ：宇宙人ユミットからの手紙Ⅲー人類の脳に「種の絶滅コード」を発見、徳間書店(1998)

キーワード： ユミット

*山崎 秀夫 (やまざき ひでお) 気の教室 代表、山旺建設 代表取締役社長、ISLIS 会員

(実演・参加型) 取り囲んだ相手を非接触で飛ばす、対気実演

西野流呼吸法で教わる、足芯呼吸と対気（たいき）は、からだごと心を癒し、人間誰もが持っている生命エネルギーを活性化し、潜在能力を開花させる。老若男女誰でもが、楽しく、速く、確実に氣を捉える最も優れたメソッドです。皆様、楽しみにして下さい。

6:40- 移動 「仙流荘」へ

[9月1日(土)夜7:00-9:30 交流会2 於「仙流荘」]

王一帆グループなど 気脈鑑定、ヒーリング、リーディングなど体験(交流会中に)

[9月1日(土)夜9:30-10:30 ISLIS 会員総会・顧問・評議員・理事会 於「仙流荘」]

9:30- 移動 「入野谷」に宿泊の方

[9月2日(日) 午前6:30-7:00 気功など指導]
気功指導 王 一帆 回春功 回春功上級師範、ISLIS会員 於「仙流荘」野外
指導 未定(希望者募集) 於「入野谷」野外

7:00-8:00 朝食 於各宿泊所、チェックアウト
8:00- 移動 「栃の木」へ

[9月2日(日) 午前8:30-11:40 於「栃の木」]

10分 田中 道雄(たなか みちお) 自然情報交換研究所 所長 cotton@cocoa.plala.or.jp
気功で新しい世界を開く

不思議現象を説明できる「新しい世界像を求めて」1. 霊と霊エネルギー現象は全ての物質・精神・意識等を持つ素粒子振動 2. 霊は個々に固有の国家社会を造る 5. 霊測定者基本素質とは正しい利用技術の実行 6. 霊の共鳴と憑依技術の根本 7. 霊エネルギーの利用は全ての産業での重要な脇役 8. 新しい世界像を開く、霊利用は低エネルギー産業への出発点

10分 古川 彰久(ふるかわ あきひさ) サトルエネルギー学会理事兼学術委員長、ISLIS正会員
(株)エイエムシイ、(有)イキイキライフ 代表取締役、いきいき創造学院 理事長
info@a-mc.co.jp <http://www.iki2life.com> <http://www.a-mc.co.jp> <http://www.a-mc.jp>

波動測定機の測定原理と活用方法(波動はニセ科学か?)

いわゆる波動測定機なるものは、測定者がセンサーで計測されている。測定機と測定者の関係はどのようになっているのか。計測された数値はどのような意味を持っているのか。どのような活用方法があるのか。これまでの実践活動を踏まえて説明いたします。ノーベル賞受賞者、江崎玲於奈先生のサイエンスにおける2面性の考え方の紹介と波動に対する考え方について。

キーワード： 波動測定、生命力活性化、波動脳力、潜在意識、自己治癒力、

10 玉井 秀明(たまひ ひであき) 自治医科大学大学院医学研究科博士課程 麻酔科学・集中治療医学講座(麻酔科学部門) 大学院生・鍼灸師、ISLIS会員 tamaihideo@jichi.ac.jp

鍼刺激による脳の細胞新生促進作用などの可能性

鍼治療は、古代より東アジアの医療の中で様々な疾患に対する重要な治療法として行われてきました。近年、徐々にその科学的根拠が示され、それに伴い西洋諸国への急速な広がりを見せています。各種の神経障害に対する鍼治療の応用にも期待が高まっています。今回、自治医大で研究し海外発表した鍼刺激による脳の細胞新生促進作用と中枢神経障害に伴う重大な症状である意識障害と筋緊張に対する鍼治療の可能性について発表致します。

キーワード： 鍼治療、細胞新生、脳、中枢神経障害

*20分 青山 圭秀(あおやま まさひで) カリフォルニア州立大学 客員教授、東洋伝承医学研究所 副所長、ISLIS 常務理事 maria@lightfield.co.jp <http://www.lightfield.co.jp/ayoyama>
東洋の哲学と現代科学 宇宙・生命・意識・・・

*20分 中込 照明(なかごめ てるあき) 高知大学理学部 助教授 nakagomi@is.kochi-u.ac.jp
脳における古典機械と量子機械

*20分 石川 幹人 明治大学 教授 ishikawa@kisc.meiji.ac.jp <http://www.isc.meiji.ac.jp/~ishikawa/>
からみあう心たち～超心理の世界観

演者が邦訳出版したラディン著『量子の宇宙でからみあう心たち』の第3部：理論編にそって、超心理の諸理論を紹介し、ラディンが重視する量子論的・全体論的世界観を解説する。あわせて超心理の理論に必要な要件の整理、他の世界観との比較、将来展望などを行なう。

*20分 小久保 秀之(こくぼ ひでゆき) 国際 研究機構(IRI) 生体計測研究所 主任研究員、ISLIS本部事務局長・執行編集委員・常務理事 kokubo@a-iri.org

超常現象の背景に何があるか考えるか

一般に超常現象と呼ばれる現象にはさまざまな種類があるが、同じような現象に異なる名前がつけられ、全く異なった止め方をされている場合がある。これは現象が複雑なせいだけでなく、それを語る人の文化的好みや時代背景が異なるせいもある。ここでは、そのような解釈の異なる例と、その背後にある考え方を論じる。

キーワード： 超常現象、超心理学、観念、概念、文化

総合討論

11:40-12:00 昼食 「栃の木」にて ツアー説明

12:00-2:30 [9月2日(日) ツアー1 発着「栃の木」着各宿泊所へも]